

# 漁海況月報

平成29年9月8日

愛知県水産試験場 漁業生産研究所

## 1 海況

### ○ 黒潮流路

9月7日の人工衛星画像によると、黒潮は、九州南東岸～室戸岬沖で接岸し、潮岬でやや離岸した後、御前崎沖で北緯31度30分まで南下し、八丈島付近を通過後、房総半島沖を北上している。

### ○ 渥美外海の状況

熊野灘～遠州灘沖は、暖水の流入が強く、9月6日の観測では、沖合域の水深200m水温は+2.5℃と極めて高めであった。

### ○ 予想

黒潮が潮岬で離岸、遠州灘で北緯32度以南へ大きく離岸し、数か月以上安定した状態を黒潮大蛇行と呼ぶ。現在黒潮は潮岬でさほど離岸していない。また、過去5回の大蛇行では多くの場合、大蛇行への移行期にトカラ海峡の流量が大きく減少するが、今回流量の減少はさほど明確ではない (<http://ovd.aori.u-tokyo.ac.jp/tides/>)。以上のことから大きな蛇行が長期間継続するかの判断は難しく、今後の動向を注視する必要がある。なお、今後しばらくは規模の大きい蛇行が続き、外海では暖水流入の強い状況が続くと予想される。

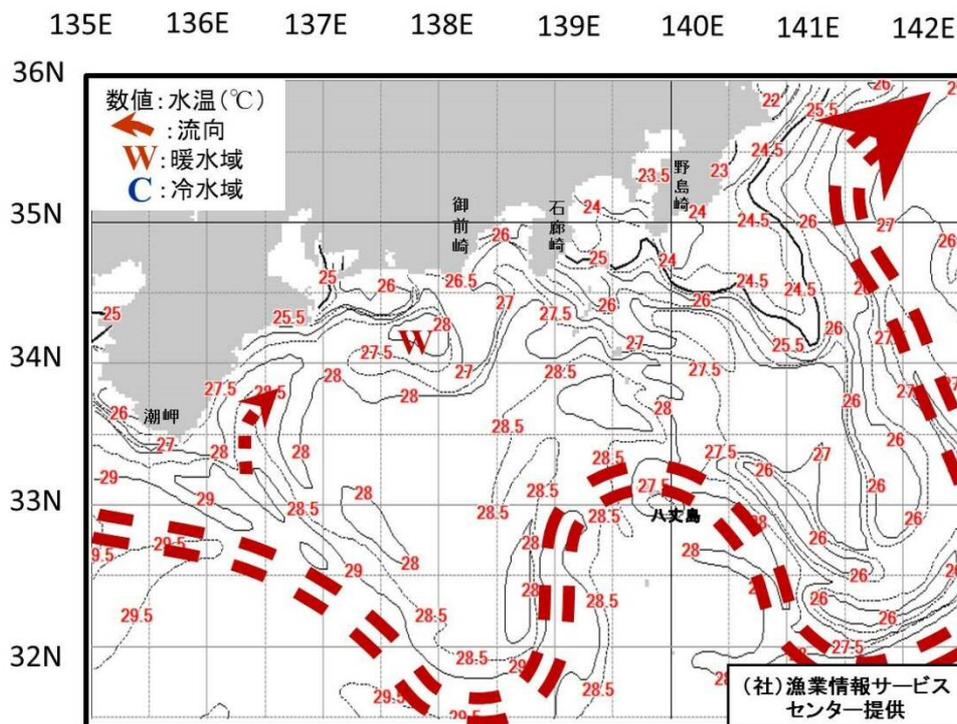


図1 海況の現況[2017年9月7日]

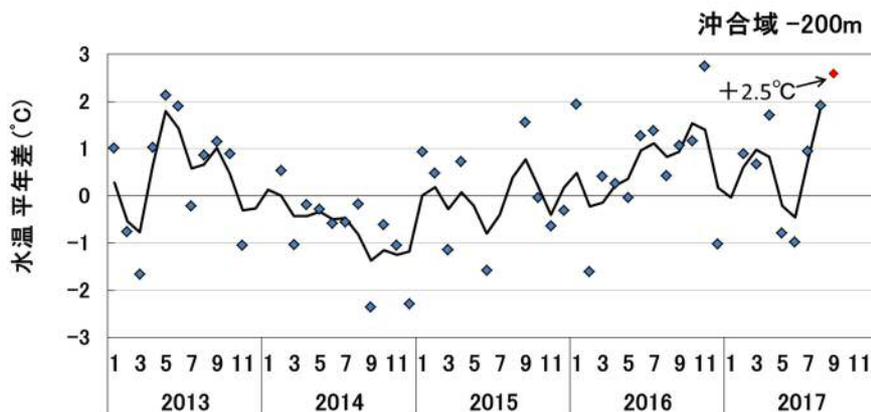


図2 沖合域の水温(A11点、A19点の200mの平均)

## 2 イワシ類

### (1) マイワシ

CPUE (1日1ヶ統あたり漁獲量) は、8月中旬以降も安定して、15トン前後で推移している(図3)。8月の県内におけるマイワシの漁獲量は約5,675トンで、この時期としては前年や平年を上回った(表7)。

7月後半から、マイワシ主体の水揚げが伸び、昨年同時期よりも魚体が約1cm小さいものの、8月下旬には、魚体13cm以上の個体も混ざりようになってきて、好調な水揚げが続いている。

魚体が前年よりも小さいことは、ふ化した時期が遅かったことによるもので、魚体が小さい状況は今後も続くと考えられる。

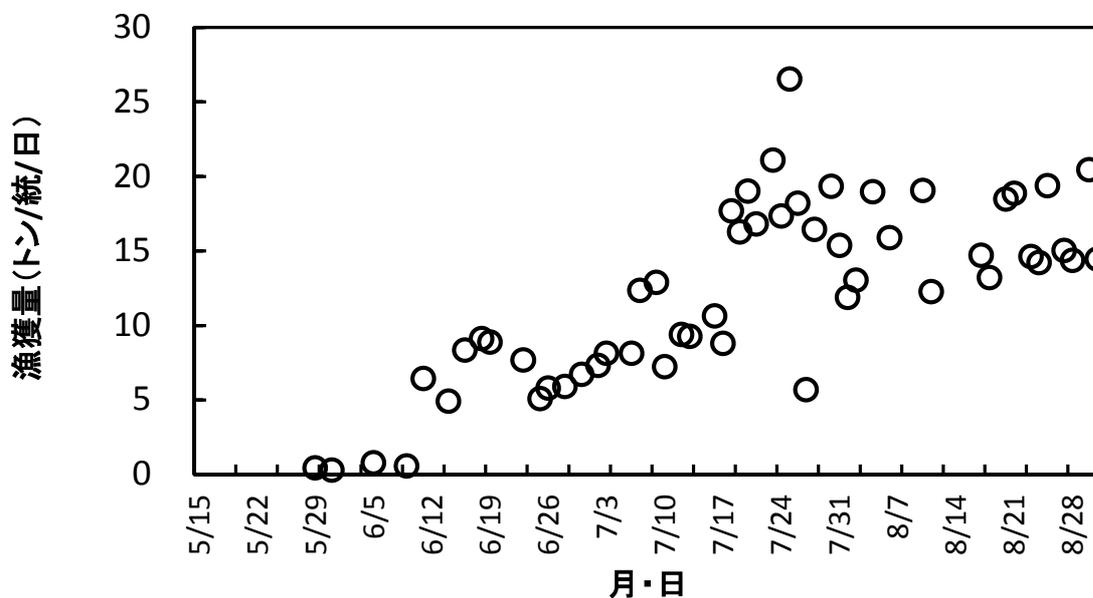


図3 マイワシCPUEの変化

表1 マイワシ体長組成

体長範囲(mm)	6月上	6月中	6月下	7月上	7月中	7月下	8月上	8月中	8月下
~40	0	1	0	0	0	0	0	0	0
40~45	0	1	0	0	0	0	0	0	0
45~50	0	1	1	0	0	0	0	0	0
50~55	0	12	9	0	0	0	0	0	0
55~60	0	86	5	0	0	0	0	0	0
60~65	0	78	8	0	0	0	0	0	0
65~70	0	17	14	4	1	0	0	0	0
70~75	0	3	21	7	3	3	0	0	0
75~80	1	1	22	12	8	5	0	1	1
80~85	0	0	37	33	39	6	2	2	2
85~90	0	0	25	27	61	10	3	7	10
90~95	0	0	2	20	73	35	5	12	7
95~100	0	0	1	10	70	42	8	21	19
100~105	3	0	1	5	38	46	27	28	46
105~110	3	0	0	1	7	38	32	20	67
110~115	4	0	0	0	0	14	19	8	27
115~120	1	0	0	0	0	1	3	1	8
120~125	0	0	0	0	0	0	1	0	1
125~130	0	0	0	0	0	0	0	0	3
130~135	0	0	0	0	0	0	0	0	5
135~	0	0	0	0	0	0	0	0	4

(2) カタクチイワシ

CPUEは8月中旬以降も回復せず、0.5 トンを下回っており、低調に推移している(図4)。8月の県内におけるカタクチイワシの水揚げは、漁獲量が約110トンで、昨年を上回ったとは言え、この時期としては平年を大きく下回っている。

魚体は体長7~8cmの0歳魚が中心で、マイワシに少し混ざる程度の漁獲が続いている。

8月も引き続きシラスの来遊量が少ないことから、未成魚の新たな資源加入は期待できない。また、体長が前年よりも約1cm小型であることから、漁獲は今後も低調に推移するものと予測される。

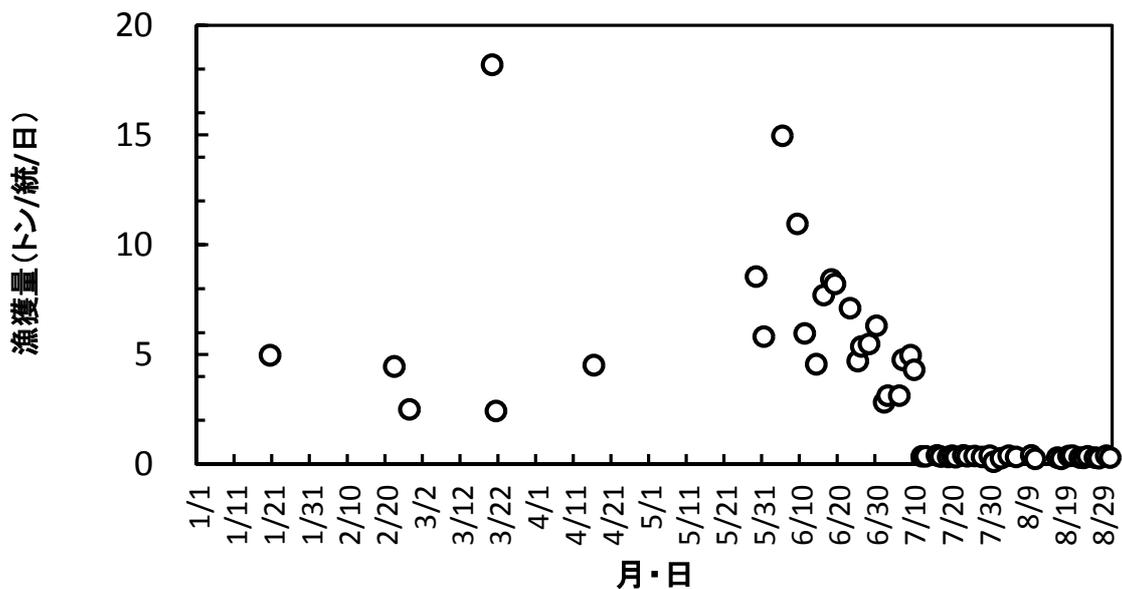


図4 カタクチイワシCPUEの変化

表2 カタクチイワシ体長組成

体長範囲(mm)	6月上	6月中	6月下	7月上	7月中	7月下	8月上	8月中	8月下
～30	0	0	0	0	0	0	0	0	0
30～35	0	0	0	0	0	0	0	0	0
35～40	0	1	0	0	0	0	0	0	0
40～45	0	2	1	0	0	0	0	0	0
45～50	0	2	2	0	1	0	0	0	0
50～55	0	17	8	25	4	0	0	0	0
55～60	0	67	22	33	23	0	0	0	0
60～65	0	82	57	34	7	3	0	0	0
65～70	0	25	48	53	0	3	2	0	0
70～75	0	1	5	53	0	51	11	3	1
75～80	0	2	1	6	0	38	9	6	3
80～85	0	1	1	1	0	13	0	1	2
85～90	0	0	0	0	0	0	0	0	1
90～95	1	0	0	0	0	0	0	0	0
95～100	15	0	0	0	0	0	0	0	0
100～105	83	0	0	0	0	0	0	0	0
105～110	72	0	0	0	0	0	0	0	0
110～115	24	0	0	0	0	0	0	0	0
115～	5	0	0	0	0	0	0	0	0

### (3) シラス

県内のシラス漁は、8月中旬以降は主要港において出漁のない状況が続いている(図5)。

8月の渥美外海の卵採集数は昨年と同じく平年を大きく下回り(表4)、伊勢湾内の採集数も平年を大きく下回っている(表5)。現在、黒潮からプランクトンの少ない暖水の流入が強まっていることから、今後もしばらくは漁獲が低調に推移すると予測される。なお、シラス漁に大きく影響する黒潮流路は、数カ月で大きく変化していくので、今後の流路の変動が注目される。

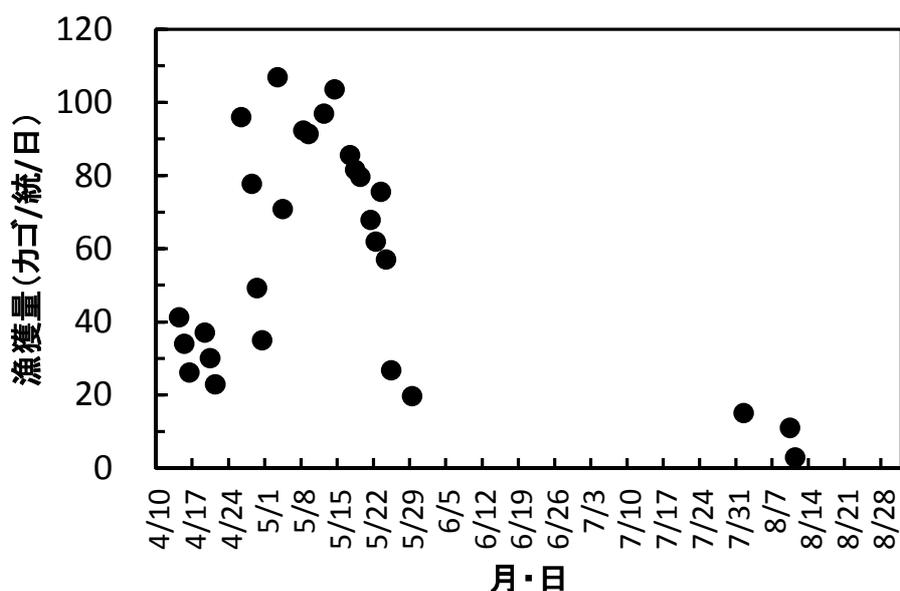


図5 シラスCPUEの変化  
(10ヶ統以上の出漁日のみ)

### 3 イカナゴ

8月30日に外海の出山海域において、イカナゴ夏眠魚の調査(空釣り)を実施した。調査海域の底層水温は21.9℃で、2015年の調査時(26.6℃)より低かった。採集尾数の平均は0.94尾/kmで、前回よりも減少していた(表3)。

体長組成から、全て0歳魚で、平均体長は104.5mm、肥満度の平均は2.97で、肥満度は前回(3.38、7/14)よりも低下していた。

表3 空釣り調査結果(愛知水試)

	イカナゴ夏眠魚 採集尾数 (尾/km)								
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
2000	9	13	60		76	46	183		12
2007		1,128	2,180		1,682		1,039		544
2008	77	45	49			121		68	30
2009		435	438				740		501
2010		792	3,306				1,333		1,589
2011		964	2,910				425		518
2012	230	378		1,721			1,869		1,324
2013	462	1,268	2,597						1,690
2014	146	1,670	(659) <sup>*1</sup>	110			49		116
2015	119 <sup>*2</sup>	61	132		47	1	4	7	5
2016	0.5	86 <sup>*3</sup>	41	51			3	5	3
<b>2017</b>	<b>2.3</b>	<b>15</b>	<b>12</b>	<b>6</b>	<b>0.9</b>				

\*1 2014年6月は三重水研の調査結果

\*2 2015年4月の調査日は、5月1日

\*3 2016年5月9日の採集では28尾、5月24日の採集では86尾。

表4 渥美外海のカタクチイワシ卵採集数 (15点合計) (個)

年/月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	合計
2012	0	0	欠測	135	1,399	362	105	221	45	2	3	0	2,272
2013	0	0	320	102	340	388	159	20	4	0	0	0	1,333
2014	0	0	149	1,071	329	20	37	114	249	59	4	0	2,032
2015	0	2	703	15	1	112	126	12	5	148	0	5	1,129
2016	0	0	0	50	27	24	93	10	2	1	0	0	207
2017	欠測	0	2	208	14	147	178	11					560
平均(過去5年)	0	0	235	275	411	182	102	75	61	42	1	1	1,339

表5 伊勢湾のカタクチイワシ卵採集数 (15点合計) (個)

年/月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	合計
2012	N	N	N	4	512	1,094	1,945	1,424	415	3	15	N	5,412
2013	N	N	N	0	30	1,237	4,764	1,366	876	9	42	N	8,324
2014	N	N	N	10	502	221	733	164	88	315	291	N	2,324
2015	N	N	N	1	191	160	30	1,291	61	132	768	N	2,634
2016	N	N	N	0	1,329	1,236	748	1,508	132	248	108	N	5,309
2017	N	N	N	0	17	29	215	494					755
平均(過去5年)	N	N	N	3	513	790	1,644	1,151	314	141	245	N	4,801

表6 シラス類漁獲量 (トン)

年\月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	合計
2012	9	0	0	110	444	832	1,383	1,167	679	1,142	496	181	6,443
2013	4	0	0	723	1,667	374	250	295	1,248	322	353	127	5,363
2014	0	0	0	594	2,828	527	18	891	672	1,400	592	236	7,758
2015	0	0	6	980	3,255	1,466	40	166	164	1,002	1,886	938	9,903
2016	11	0	94	1,210	691	33	628	136	132	1,683	1,718	636	6,972
2017	5	0	0	885	2,247	0	11	38					3,187
10年平均	4	0	17	540	1,620	968	580	488	528	875	721	285	6,625

表7 カタクチイワシ漁獲量 (トン)

年\月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	合計
2012	46	0	0	260	1,471	1,792	1,824	3,704	2,197	483	851	354	12,983
2013	0	0	0	0	803	2,680	4,794	5,382	2,382	1,082	2,811	1,768	21,702
2014	446	0	0	655	269	2,864	5,389	3,742	3,009	2,609	1,971	703	21,657
2015	231	226	0	131	0	286	4,332	2,952	3,191	800	1,262	361	13,772
2016	85	0	14	0	851	2,128	1,703	91	789	0	150	508	6,320
2017	15	21	62	23	300	1,873	543	110					2,946
10年平均	89	48	13	226	743	1,939	4,053	3,810	2,313	1,195	1,092	676	16,197

\* 2016.6以降は水試の推計値

表8 マイワシ漁獲量 (トン)

年\月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	合計
2012	0	0	0	0	0	72	49	499	214	52	0	0	886
2013	0	0	0	0	1	8	107	577	295	3	0	0	992
2014	0	0	0	<1	0	104	269	1,547	1,334	617	422	180	4,474
2015	76	78	0	0	0	4	1,010	2,100	3,184	2,684	1,413	574	11,123
2016	74	0	0	0	75	4,736	4,535	5,812	4,419	3,803	949	820	25,225
2017	0	0	0	0	16	1,496	6,042	5,675					13,229
10年平均	15	9	0	0	8	502	707	1,333	1,213	787	293	163	5,031

\* 2016.6以降は水試の推計値